

都市再生整備計画 事後評価シート
安城七夕地区

平成23年3月

愛知県安城市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	安城市		地区名	安城七夕地区			面積	20.1ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	748百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(市道 御幸本町1号線、市道 御幸本上条線、市道 御幸本町8号線)、地域生活基盤施設(広場)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	事業活用調査(既存ストック活用調査)、まちづくり活動推進事業(道路景観ワークショップ)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(自転車駐車場)			中心市街地へのアクセスを向上させるため追加			中心市街地への来街者数、商業の振興に関する満足度の指標に関連するが、指標への影響は少ないと考え、指標及び数値目標は据え置く。			
			提案事業	-									
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	中心市街地への来街者数	人	20,012	H16	21,200	H22	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		
	指標2	道路の整備に関する満足度	%	46.0	H15	50.0	H22		52.8		あり なし	道路整備と、それにあわせて道路景観ワークショップの開催等の取組みが、市民の評価につながった。	平成25年5月
	指標3	商業の振興に関する満足度	%	24.4	H15	30.0	H22		34.3		あり なし	商店街の活性化にむけた七夕広場と既存ストック(クリエイションプラザ)との連携が、商業の振興に関する取組みとして市民の評価につながった。	平成25年5月
	指標4										あり なし		
	指標5										あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の数値指標1	安城七夕まつりへの参画者数	人	744	H17			モニタリング	評価値	達成度 ¹⁾	達成見込み		
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	道路無電柱化にあたって地元を交えたワークショップを行い、地元住民と協働して事業に取り組むことで、歩道のデザインや、市道 御幸本町1号線の可動式中央分離帯等、地元のまちづくりに対する意欲を事業に反映することができた。												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
	住民参加プロセス		「安城七夕まつり」において、七夕笹飾り空間を創出し、地域住民の意見を反映した道路整備を行うため、道路景観ワークショップにより意見集約を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後もワークショップ等により、市民の参画を一層進める。		
	持続的なまちづくり体制の構築		タウンマネージメント機関「まちづくりAnjo」の活動支援				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後とも「まちづくりAnjo」の活動に参画し、支援する。		

様式2 - 2 地区の概要

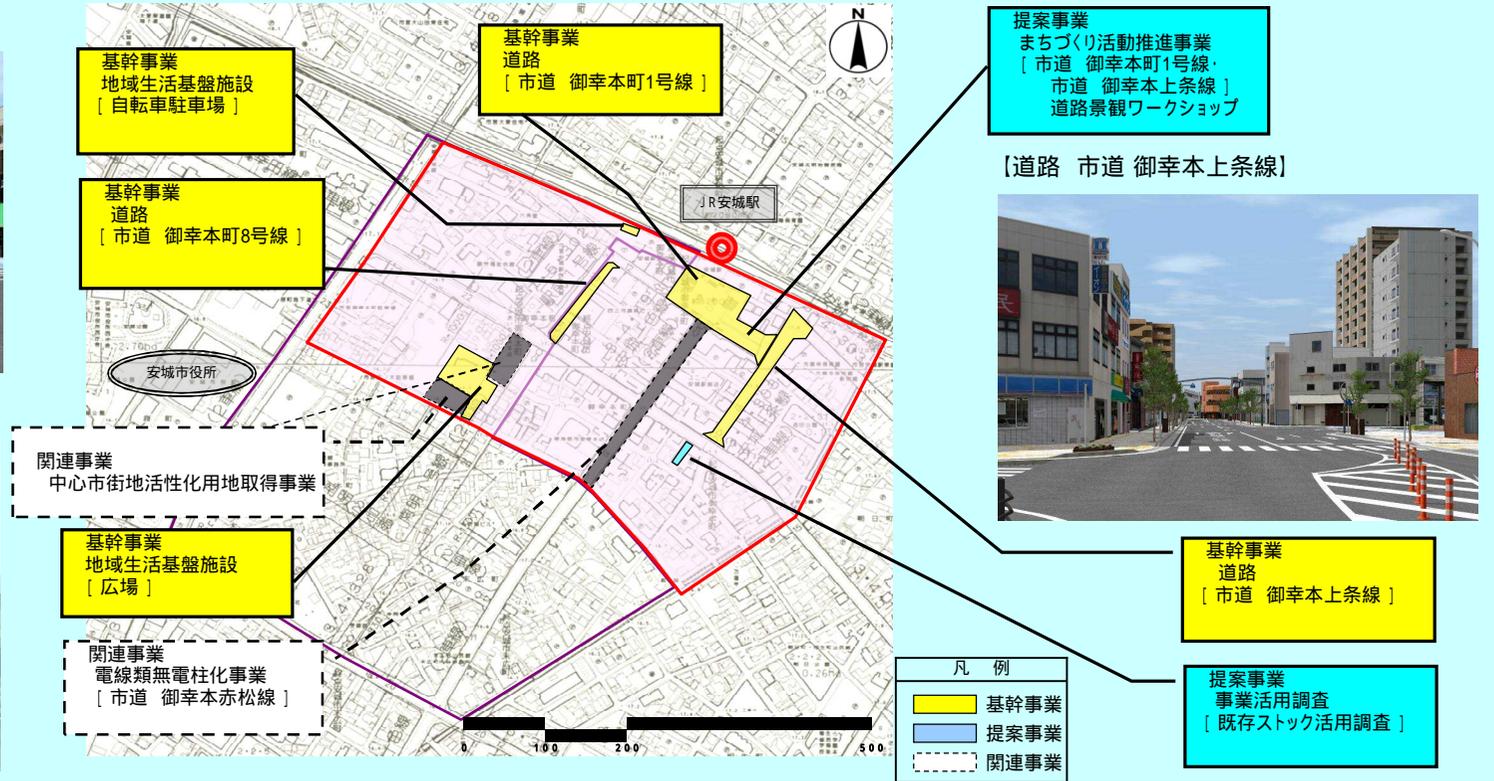
安城七夕地区(愛知県安城市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 日本三大七夕まつり「安城七夕まつり」を活かした賑わいの創出 目標1: 七夕広場の活用による、交流人口の増加と商店街の活性化を図る。 目標2: 歴史ある笹飾りを活用した「七夕まつり」の独自性創出を図る。 目標3: 市民主導型の「七夕まつり」へリニューアルし、市民活動を活性化を図る。	中心市街地への来街者数	単位:人	20,012 H16	21,200 H22	22,116 H22
	道路の整備に関する満足度	単位:%	46.0 H15	50.0 H22	52.8 H22
	商業の振興に関する満足度	単位:%	24.4 H15	30.0 H22	34.3 H22
	安城七夕まつりへの参加者数	単位:人	744 H17	-	866 H22
		単位:	H	H	H

【道路 市道 御幸本町1号線】



【生活基盤施設 自転車駐車場】



まちの課題の変化

・市民生活の安定化、経済活力の確保のため、中心市街地活性化が課題であったが、中心市街地における広場、自転車駐車場整備、幹線道路の無電柱化等により、利便性、快適性が改善された。今後さらに、ソフト面でも魅力のあるまちづくりを進め、中心市街地活性化を図る。
 ・安城七夕まつりの新たな仕掛けによるリニューアル、次世代への継承が課題であったが、中心市街地の道路整備等により、「安城七夕まつり」の魅力向上に資する基盤が形成された。今後は、広く市民が参加する形での「安城七夕まつり」の継承・リニューアルの機運を高めていく。
 ・駅前整備は進んだが、周辺の未整備市街地における都市環境の低下が目立つようになった。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

・快適性の向上が図られた都市基盤施設の維持
 道路、広場等の公共空間において、周辺の商業者、住民等の協働による都市環境維持活動を推進する。
 整備された都市基盤を活用した、中心市街地の魅力づくり
 多様な主体が参画し、魅力あるイベント展開や空き店舗の活用などにより交流人口の増加をさらに図っていく。
 道路、広場等の空間を活用した「安城七夕まつり」の継続的な魅力づくり、時代の変化への対応
 快適性の向上が図られた市街地空間と「安城七夕まつり」をセットとしたPRを推進する。また多様な主体、世代が参画したタウンマネジメントの一環として「安城七夕まつり」の新たな取組みを通じ、より一層市民主導の取組みを進め、まつりの魅力向上に努める。
 都市拠点としての都市機能の充実
 安城市の中心商業、業務地として都市拠点に位置づけられている本地区を魅力と活力あふれる拠点として育成する。